

この国の本当の実力

文 浜田 和幸  
(国際政治経済学者) text by Dr. Kazuyuki Hamada

落としたサイフが戻ってくる！世界が注目するKOBAN(交番)



世界でも珍しい実験結果があります。それは「落し物が持ち主の元に戻ってくる確率」を探る実験です。アメリカのミシガン大学が日米で実施したところ、驚くような結果が出ました。東京の新宿では現金4万円入りのサイフを、ニューヨークでは400ドル入りのサイフをわざと落として試したのですが、そのサイフが本人に戻ってくる確率が新宿では85%、一方、ニューヨークでは30%でした。

似たような調査はリーダーズ・ダイジェスト社でも行っているのですが、こちらの実験でも東京は90%近い確率でサイフが持ち主の元に戻ってくるのです。ところが、同じ調査で、ロンドン(イギリス)では42%、マドリード(スペイン)では17%、リスボン(ポルトガル)においては8%しか戻ってきません。興味深いのは、オスロ(ノルウェー)やオーデンセ(デンマーク)では100%の確率ですから、日本より律儀な北欧の国民性が見て取れます。

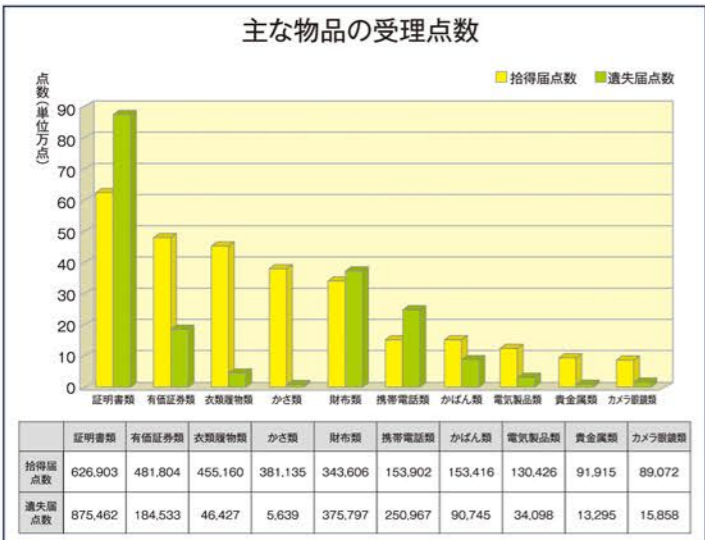
とはいえ、世界ランキングで見れば、日本人の真面目さと日本の治安の良さは圧倒的に際立っていることは間違いありません。平成28年度の警視庁による東京都内のサイフ類の遺失物届け出点数は37万5797件

すべきは、たとえ少額であっても失くしたものが、あるいは拾ったものをちゃんと届ける先があることが大事な点ではないでしょうか。交番であったり、駅の窓口であったりと、割と身近なところに、そうした場所が整備されているのが日本社会の特徴です。そもそも「交番」という存在そのものが、日本独特の社会システムに他なりません。世界的にも珍しいものです。日本人の発明品といっても過言ではありません。地域社会に密着しており、近所の見回りだけでなく、道案内までしてくれます。場所によっては、放課後の子供を集めて、勉強まで見せてくれるところもあるほどです。それだけ、欠かせない町の一部として溶け込んでいる存在といえるでしょう。

このシステムこそが犯罪件数の低さを含めて日本の治安の良さの最大の理由だということ、1990年代からアメリカからも視察団がたびたび来日したものです。日本経済団体連合会(経団連)では、日米経済交流事業の一環として、企業から資金を集め、KOBANプロジェクトを大々的に展開しました。その結果、アメリカ東海岸のボルティモア市から始まり南米コロンビアに至るまで、各地に「KOBAN」が誕生することに。現地では大きく報道され、日本式の治安対策として高い評価を得ました。KOBANは英語としても定着済みです。

わが国ではあまり知られていませんが、日本の国際協力機構(JICA)では2000年以降、日本から専門家を派遣し、海外での「KOBAN」普及を支援しているのです。治安の悪化に頭を悩ませていたブラジルでは、政府が積極的に交番を導入したところ、かつて国連から世界一危険な地区と認定されたサンパウロ・ラニエリ地区では10年間で殺人事件数が2割まで減少したと報告されています。

このところ、銃の乱射事件や児童誘拐や虐待問題が深刻化する一方のアメリカですが、再度、日本から交番をより広い地域で



で、拾得物届け出点数は34万3606件となっています。ということは実に91.4%が警察に届けられているわけです。北欧諸国と比べ、人口や都市の規模では日本がはるかに大きいことを加味すれば、日本人の正直度は世界一と言えるかも知れません。

このところ、確かに日本でも犯罪件数が増えているようですが、世界と比較すれば、日本の町の安全性は断トツでしょう。町の至る所に釣り銭のたっぷり入った自動販売機が並んでいることだけで、多くの外国人観光客は驚きます。自動販売機ごと盗まれることが当たり前といった国もあるからです。

また、夜の繁華街などに高級車が路上駐車されている場面にも海外からの観光客は度肝を抜かれるようです。ニューヨークなどでは、あつという間にウィンドウを割られ、一切合財を持っていかれることも日常茶飯事。それだけ日本は安全な国なのです。この安全な町の姿を大切に守っていかねばなりません。

多くの外国人は「落としたサイフが戻ってくるというのは奇跡だ」と驚きます。これには日本人の真面目な性格が影響していることは否定の仕様がなないので、注目を集めるべきです。

また、夜の繁華街などに高級車が路上駐車されている場面にも海外からの観光客は度肝を抜かれるようです。ニューヨークなどでは、あつという間にウィンドウを割られ、一切合財を持っていかれることも日常茶飯事。それだけ日本は安全な国なのです。この安全な町の姿を大切に守っていかねばなりません。



**Profile**  
国際政治経済学者、北京交通大学客員教授、前参議院議員。東京外国語大学中国科卒。米ジョージ・ワシントン大学政治学博士。総務大臣政務官、外務大臣政務官など歴任。専門は「技術と社会の未来予測」「国家と個人の安全保障」「長寿企業の戦略経営」。ベストセラー「ヘッジファンド」(文春新書)、「快人エジソン」(日本経済新聞社)、「武器としての超現代史」(学研プラス)など著書多数。